

2012年11月13日

ファイザー株式会社
「処方薬の飲み残しに関する意識・実態調査」
参考資料

- I. 調査設計
- II. 調査結果のまとめ

I. 調査設計

1. 調査の目的

平成24年春の診療報酬改定において、薬剤師による「残薬の確認」が新たに算定要件として加えられてから、半年以上が経過。約500億円分ともいわれる飲み忘れ等による薬の無駄をなくし医療費削減に繋げることを目的に導入されたこの「残薬の確認」制度は、患者の服薬アドヒアランスを高めてQOLの向上に繋がるものとして、導入前から注目を集めていた。そこで、「残薬の確認」導入後半年間を経て、薬の飲み忘れに対する生活習慣病患者および、医師・薬剤師の意識・実態を明らかにするために、今回の調査を実施。

2. 調査の内容

・調査対象： 生活習慣病患者※／医師／薬剤師

※高血圧、高脂血症、糖尿病のいずれかで現在通院中の上、処方薬を服用している生活習慣病の患者

・サンプル数：合計 500サンプル

・生活習慣病患者： 300サンプル

・医師： 100サンプル

・薬剤師： 100サンプル

・調査方法： インターネットアンケート調査

3. 調査の実施日

2012年10月18日(木)～2012年10月19日(金)

※本資料中の数値は、全て少数点第2位以下を四捨五入しています

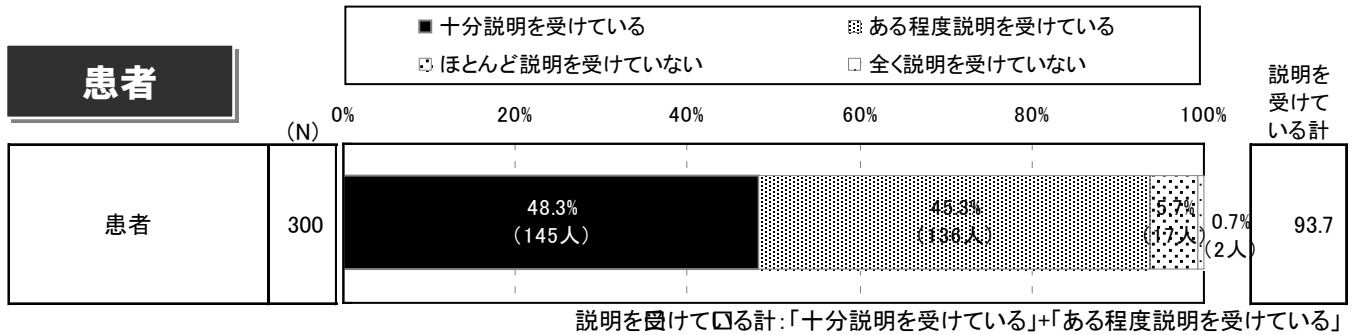
※患者と医師・薬剤師のデータを比較するため、設問の並び順を入れ替えています。

II. 調査結果のまとめ

※患者と医師・薬剤師のデータを比較するため、設問の並び順を入れ替えています。

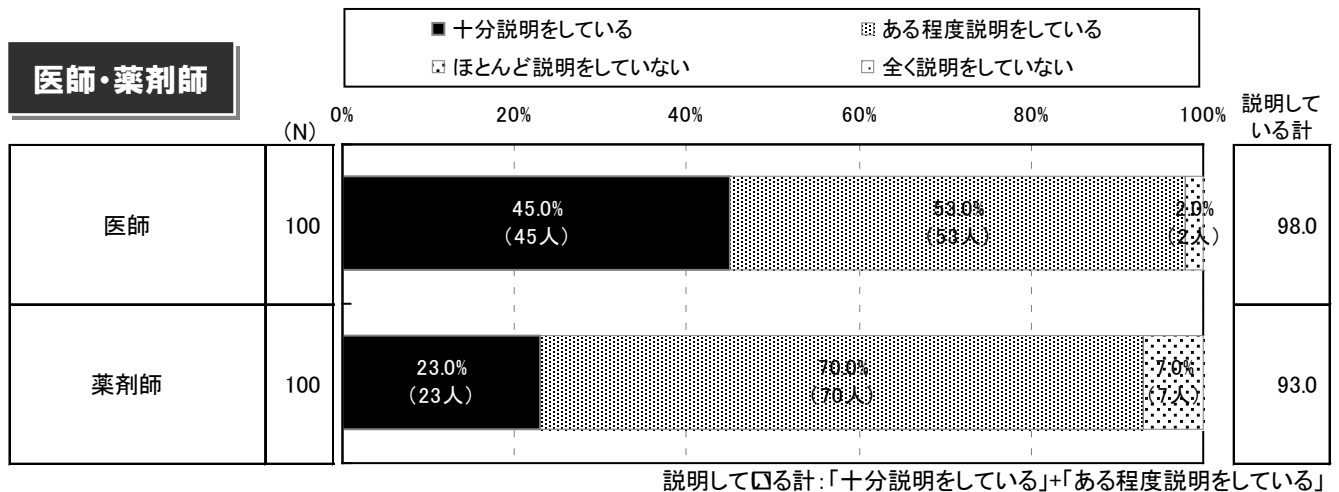
Q1 通常、病院や医院で処方された生活習慣病のお薬について、医師や薬剤師、看護師などから説明を受けていますか？【SA】

※N=患者(300)



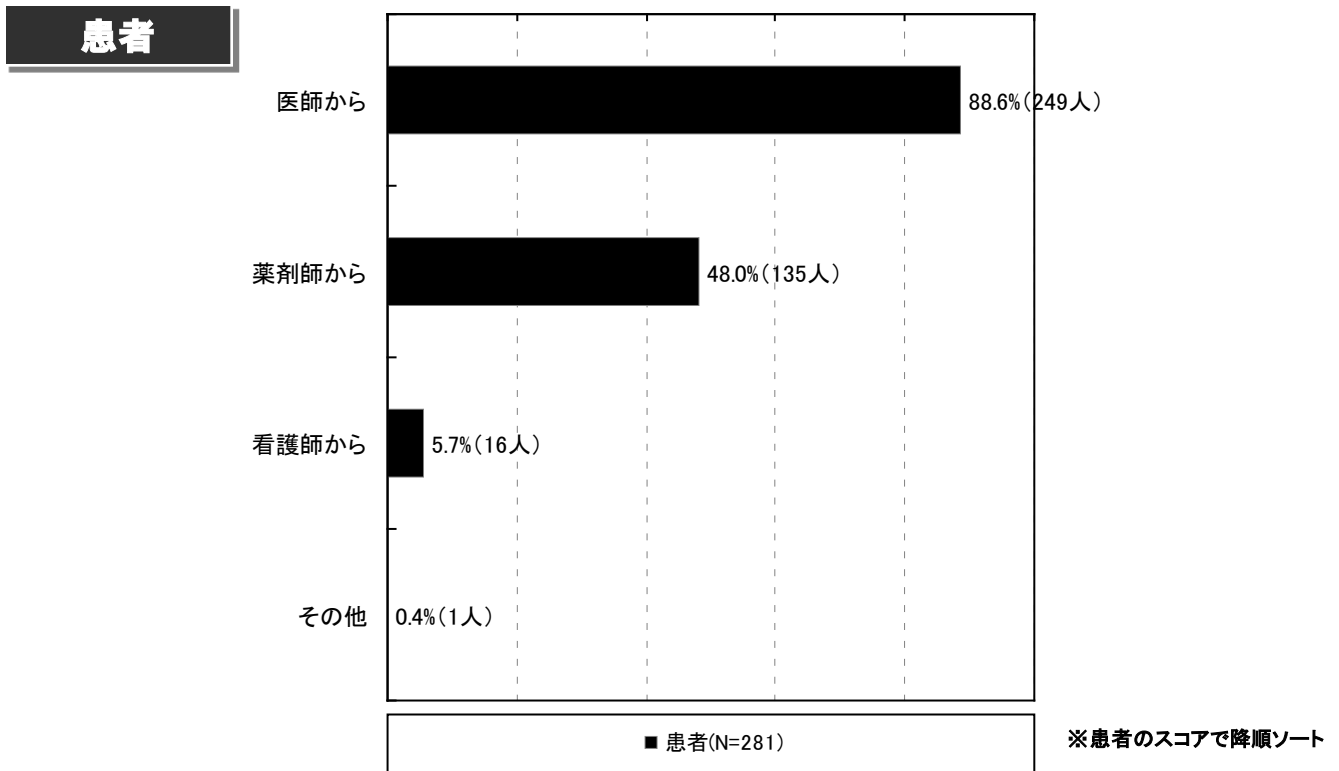
Q20 生活習慣病の処方薬について、患者さんにどの程度説明をしていますか？【SA】

※N=医師・薬剤師(200)



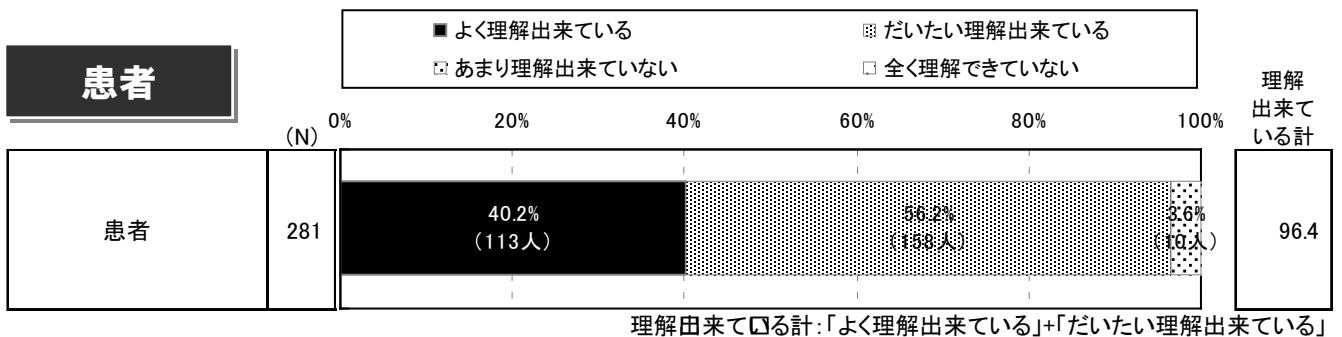
Q2 通常、その説明は誰から受けていますか？(いくつでも)【MA】

※N=薬の説明を受けている患者(281)



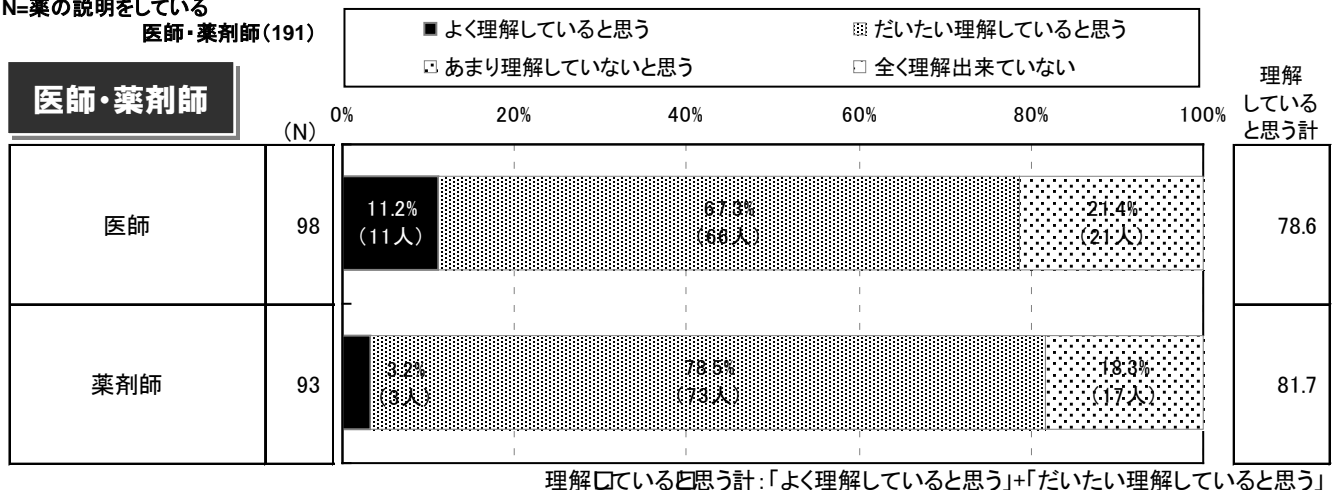
Q3 説明を受けて、どの程度説明の内容を理解出来ていますか？【SA】

※N=薬の説明を受けている患者(281)



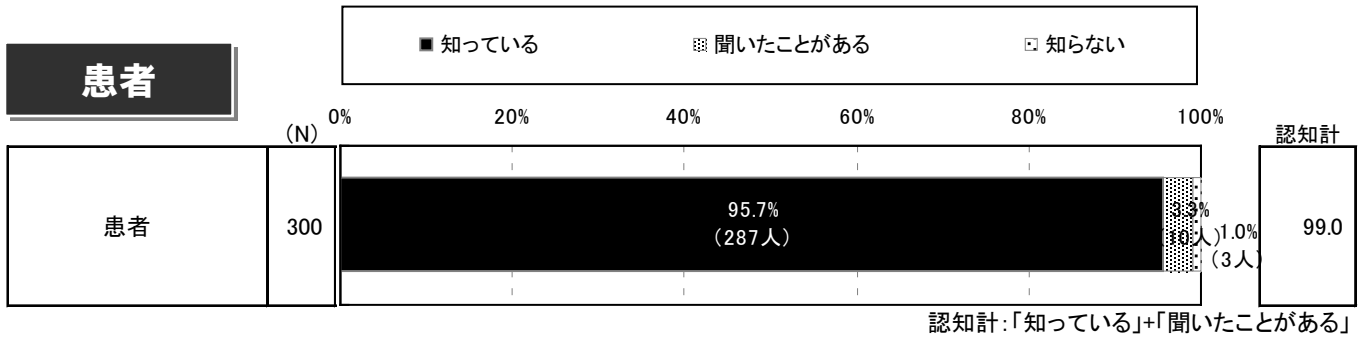
Q21 通常、説明を受けて、どの程度患者は説明の内容を理解していると思いますか？【SA】

※N=薬の説明をしている医師・薬剤師(191)



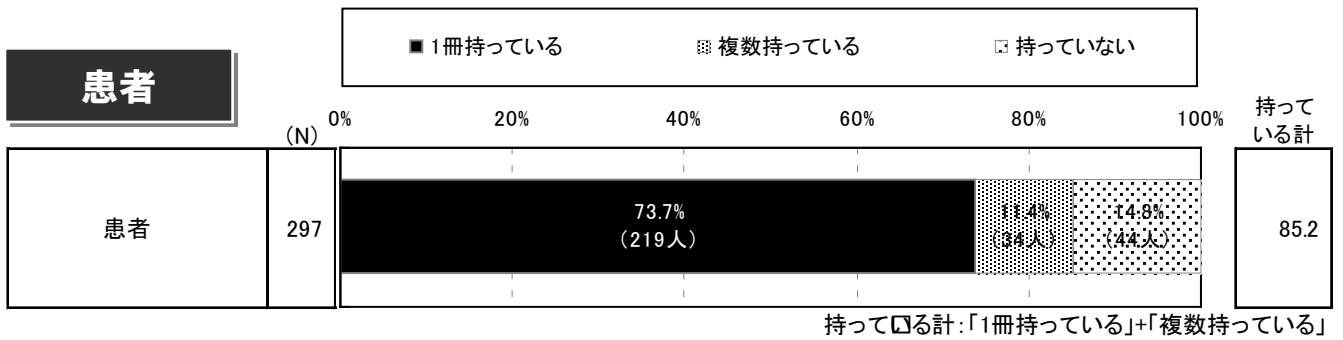
Q4 お薬手帳について知っていますか？【SA】

※N=患者(300)



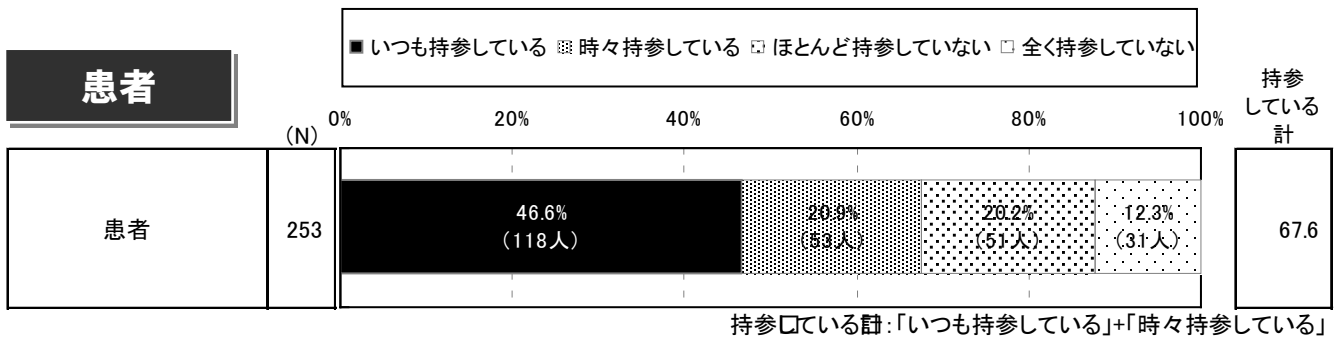
Q5 ご自身のお薬手帳を持っていますか？【SA】

※N=お薬手帳を認知している患者(297)



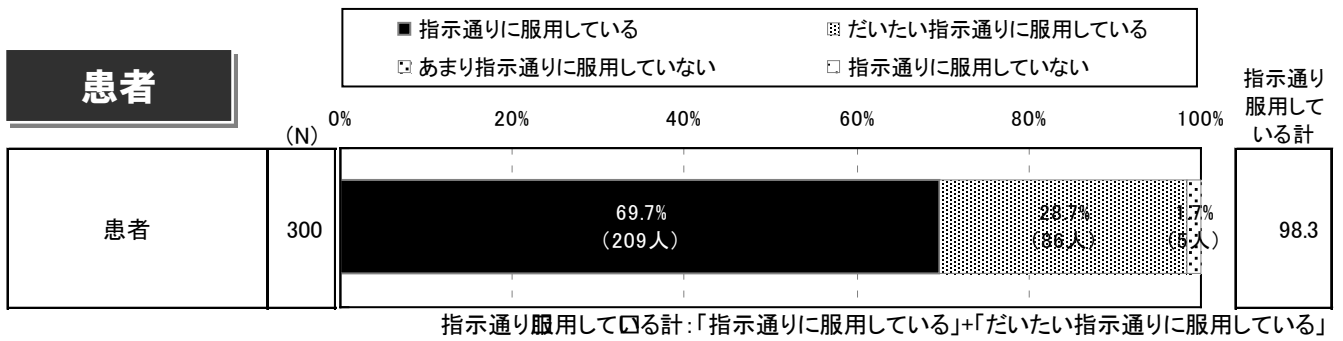
Q6 お薬を処方してもらう際に毎回持参していますか？【SA】

※N=お薬手帳を持っている患者(253)



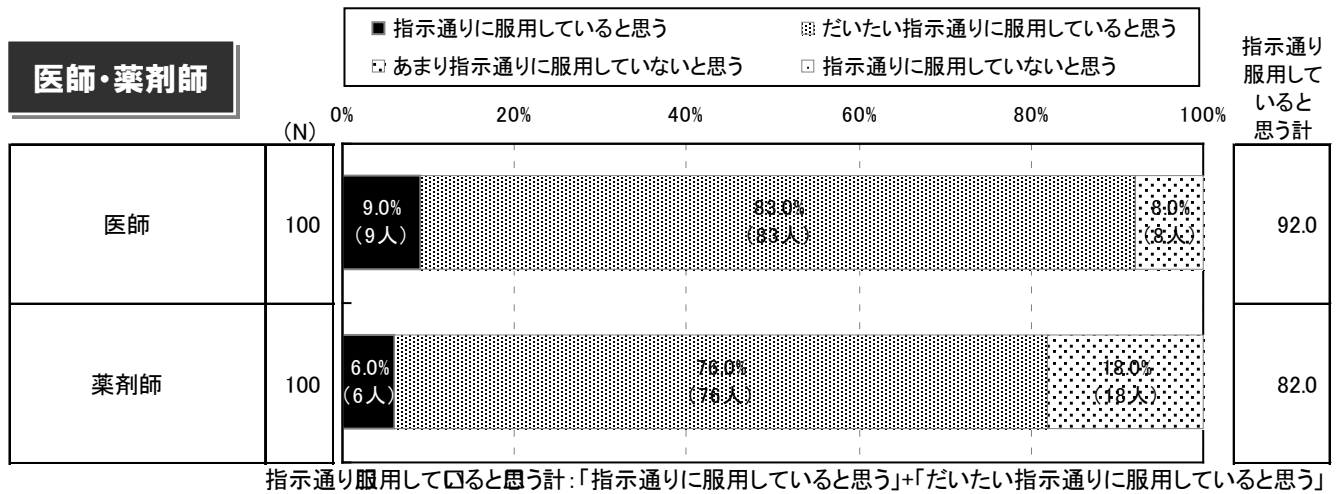
Q7 処方された生活習慣病のお薬について、指示通りに服用していますか？【SA】

※N=患者(300)



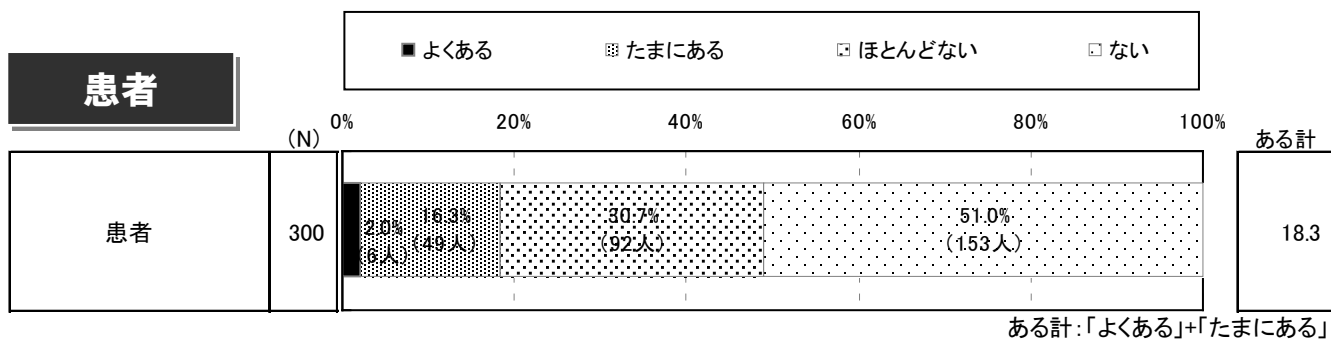
Q24 患者さんは処方された生活習慣病のお薬について、指示通りに服用していると思いますか？【SA】

※N=医師・薬剤師(200)



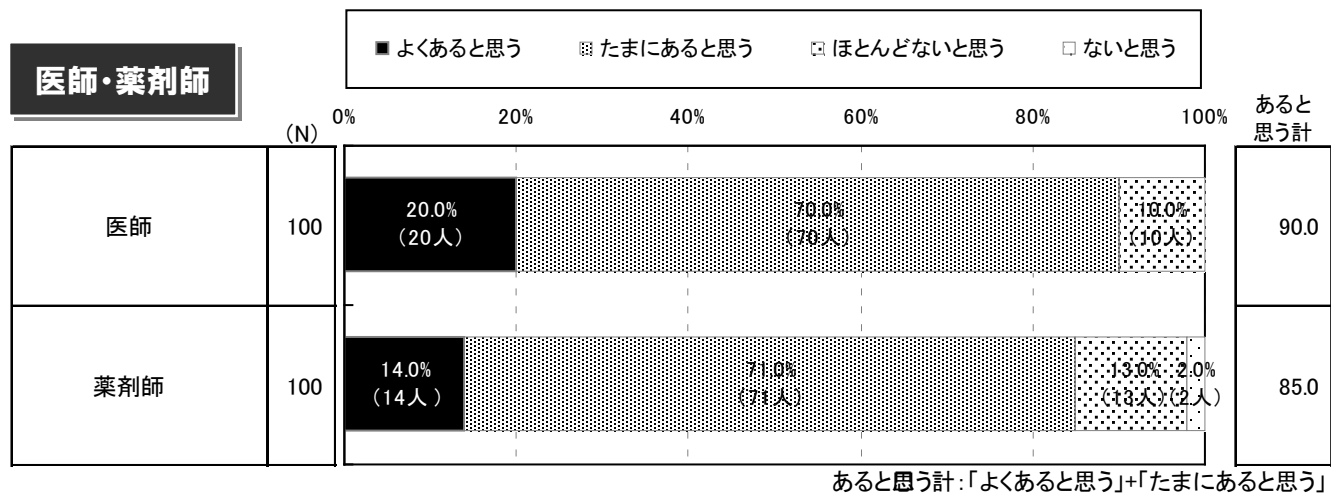
Q8 生活習慣病のお薬について、自分の判断で服用量を減らしたり、服用を中止したことがありますか？
 (例：2錠処方されたところを1錠しか飲まない、1錠を割って飲むなど)【SA】

※N=患者(300)



Q25 生活習慣病のお薬について、患者が自分の判断で服用量を減らしたり、服用を中止したりすることがあると思いますか？【SA】

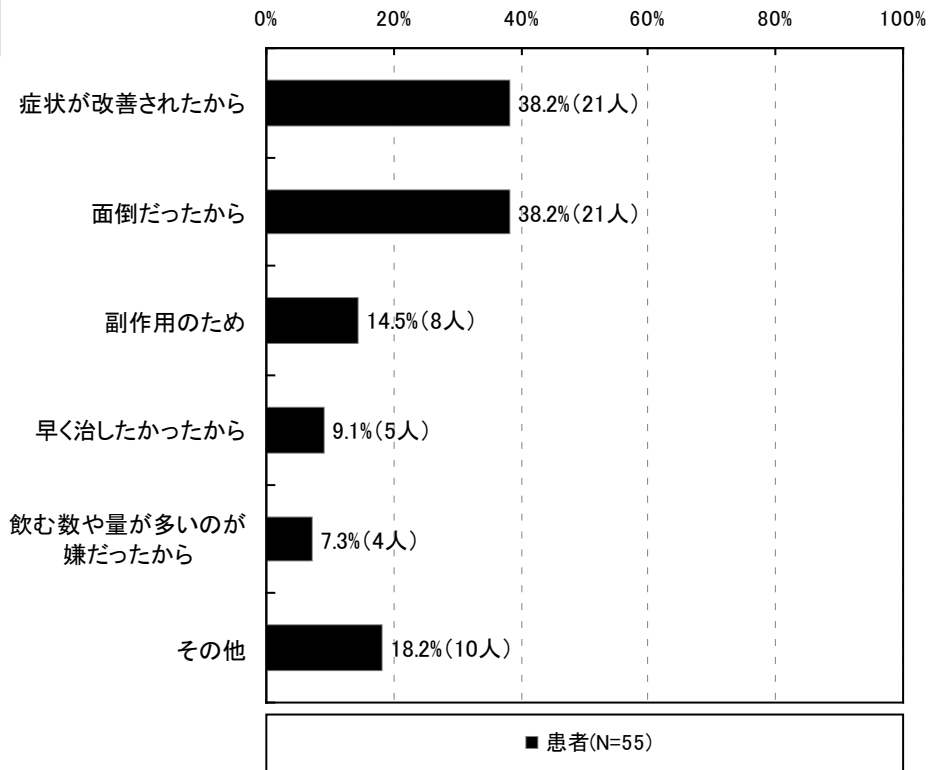
※N=医師・薬剤師(200)



Q9 自分の判断で用量を減らしたり、中止したりする理由について、当てはまる理由を選んでください。(いくつでも)【MA】

※N=薬の服用量を減らしたり中止したことがある患者(55)

患者

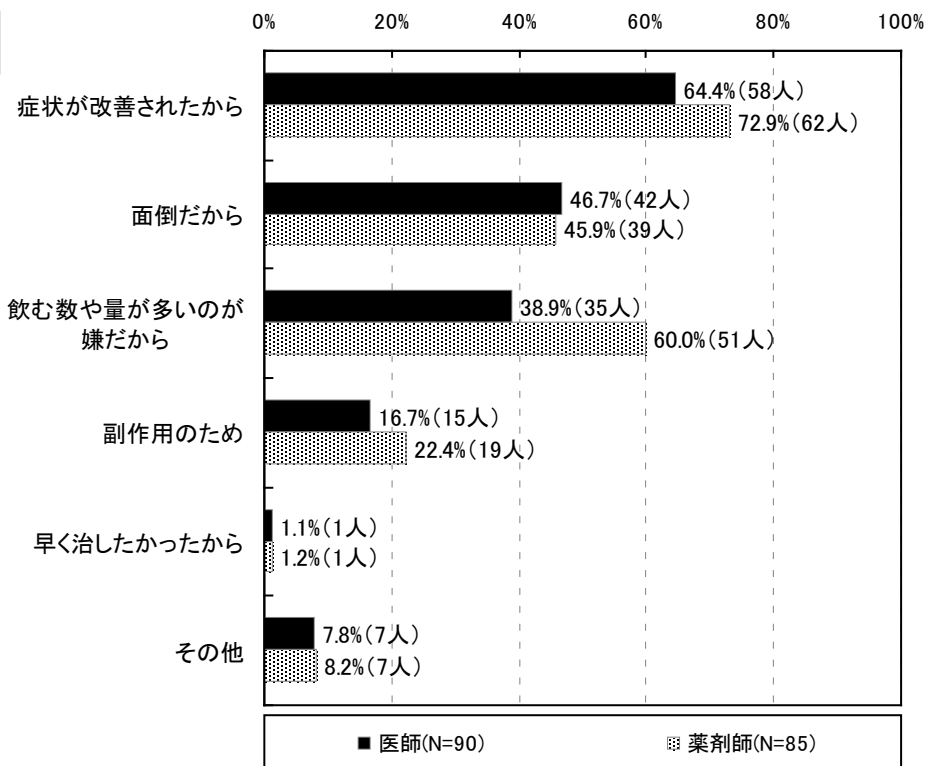


※患者のスコアで降順ソート

Q26 自分の判断で服用量を減らしたり、服用を中止したりしている理由について、当てはまると思う理由を選んでください。(いくつでも)【MA】

※N=患者が薬の服用量を減らしたり中止すると思う医師・薬剤師(175)

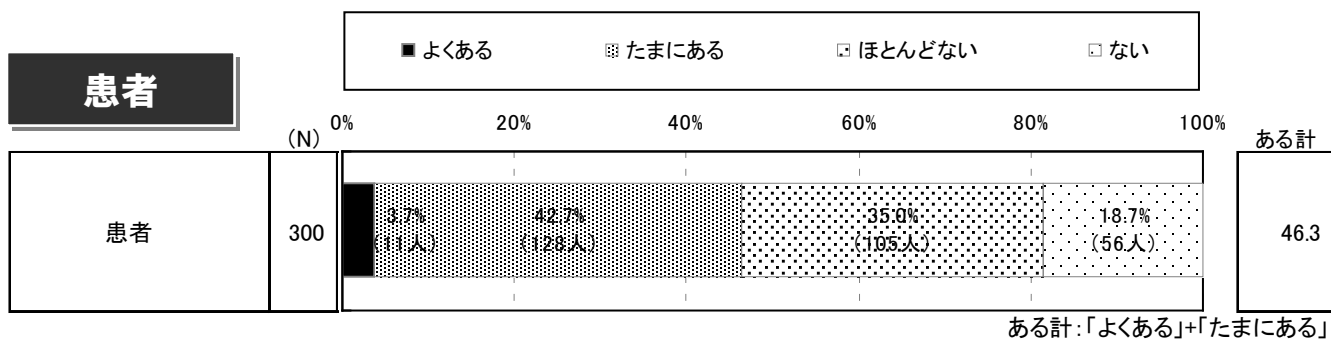
医師・薬剤師



※医師のスコアで降順ソート

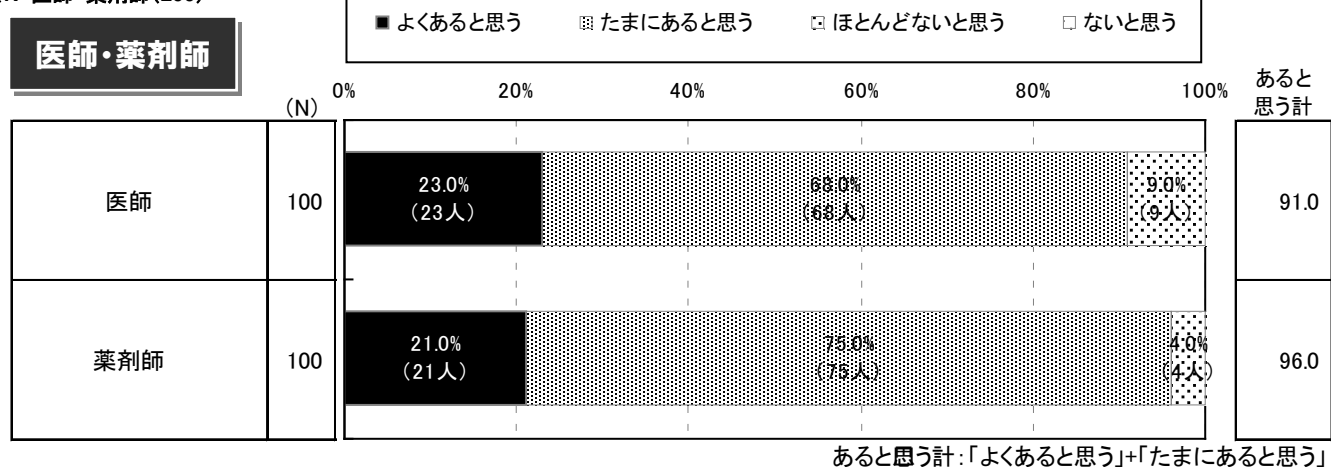
Q10 処方された生活習慣病のお薬について、飲み忘れてしまうことはありますか？【SA】

※N=患者(300)



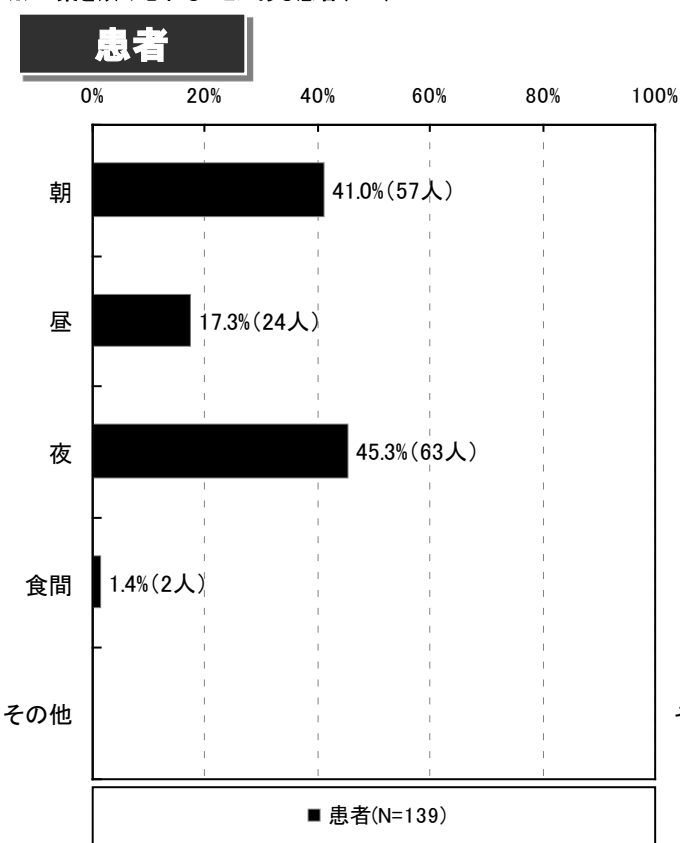
Q27 患者が処方された生活習慣病のお薬を、飲み忘れることはどの程度あると思いますか？【SA】

※N=医師・薬剤師(200)



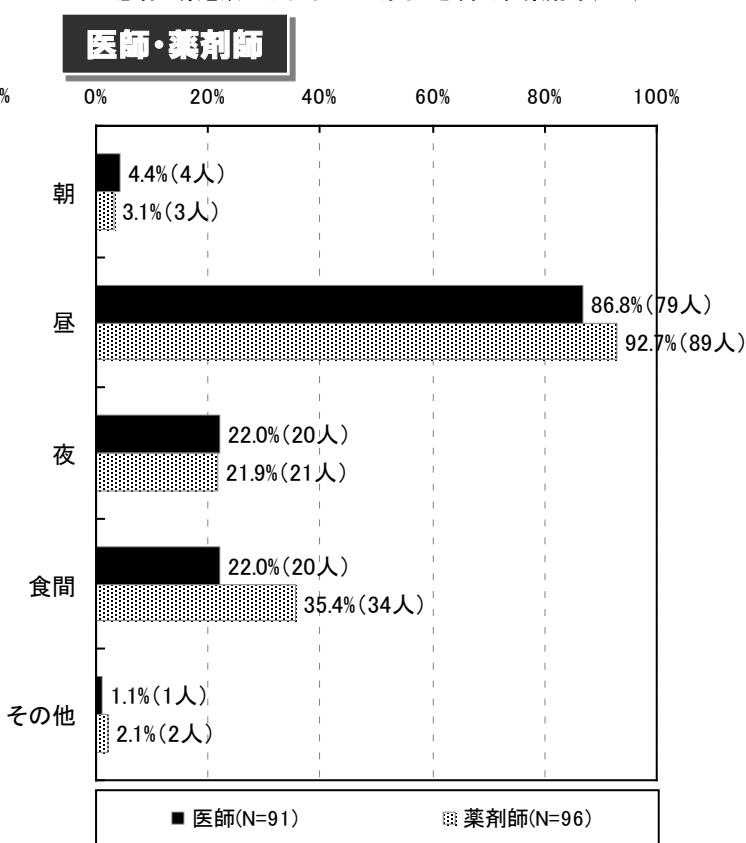
Q11 飲み忘れが多いのはいつですか？(いくつでも)【MA】

※N=薬を飲み忘れることがある患者(139)



Q28 飲み忘れが多いのはいつだと思いますか？(いくつでも)【MA】

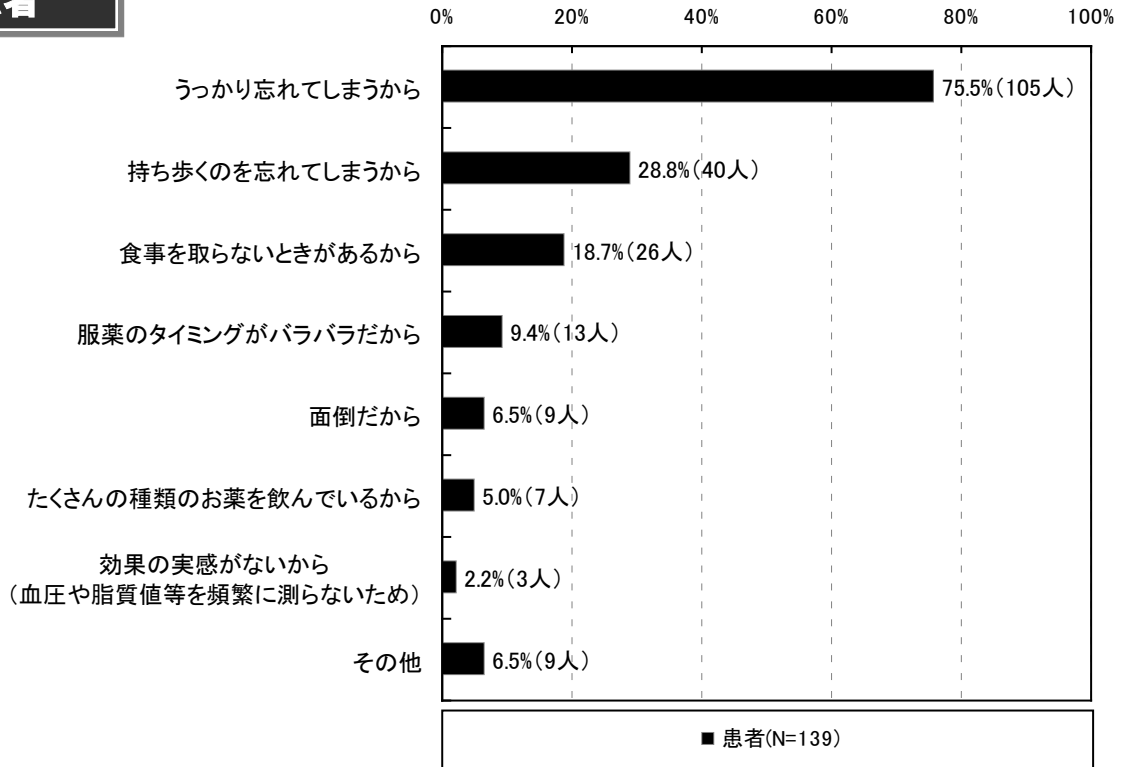
※N=患者が薬を飲み忘れることがあると思う医師・薬剤師(187)



Q12 飲み忘れてしまう理由について、当てはまる理由を選んでください。(いくつでも)【MA】

※N=薬を飲み忘れることがある患者(139)

患者

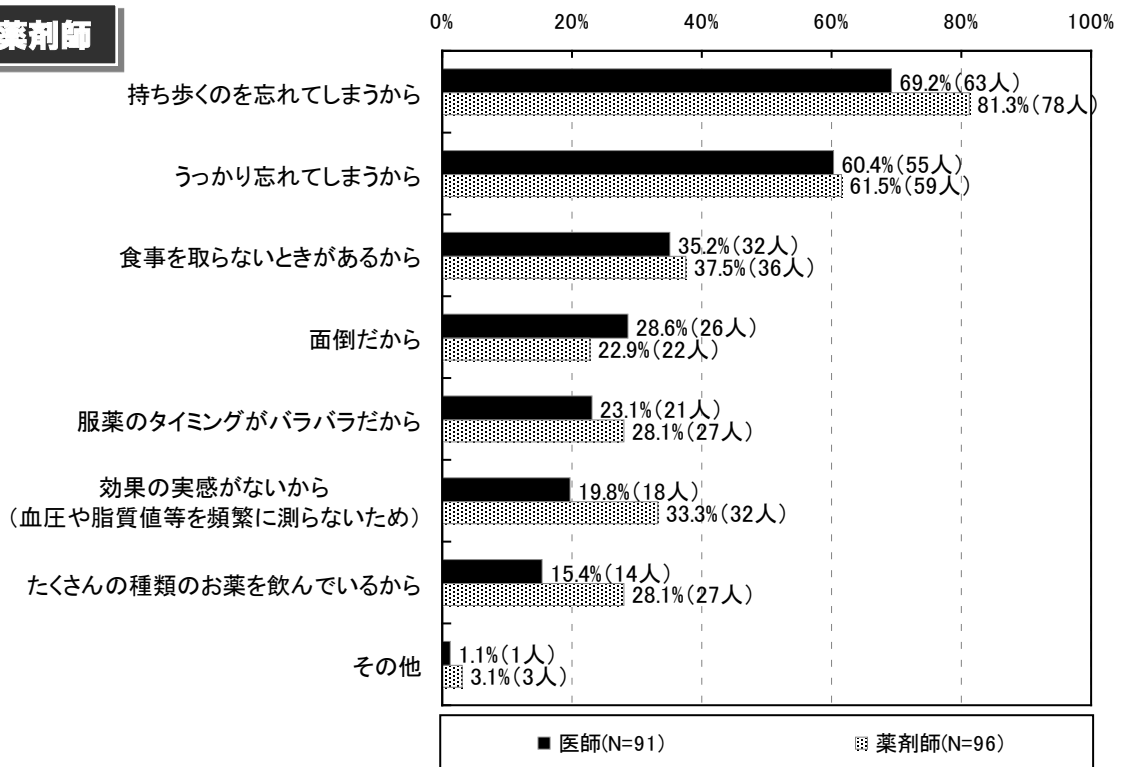


※患者のスコアで降順ソート

Q29 飲み忘れてしまう理由について、当てはまると思う理由を選んでください。(いくつでも)【MA】

※N=患者が薬を飲み忘れることがあると思う医師・薬剤師(187)

医師・薬剤師



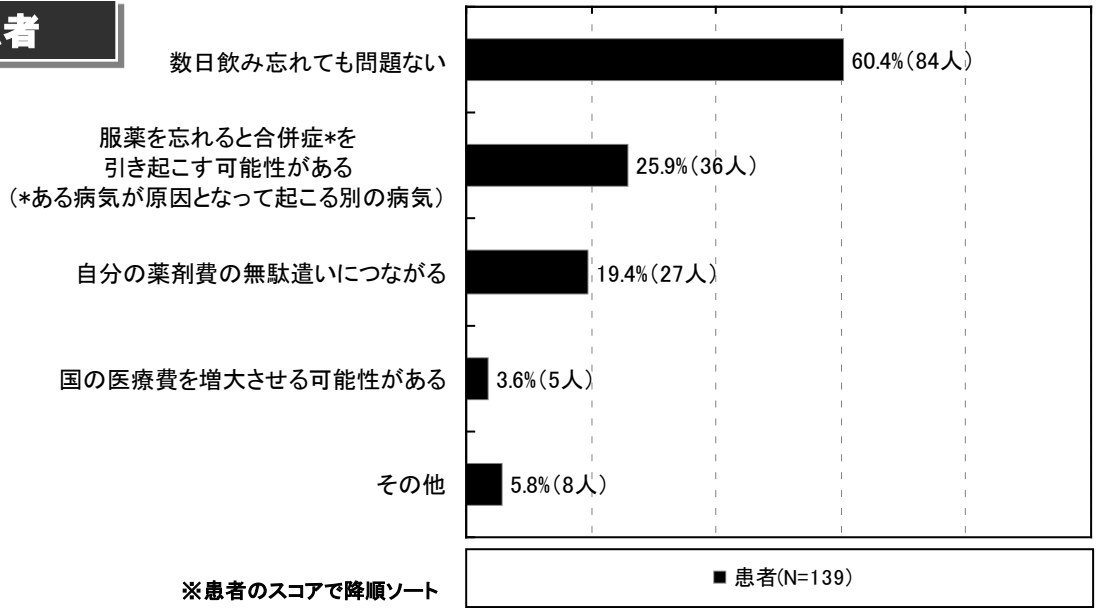
※医師のスコアで降順ソート

Q13 生活習慣病のお薬について、飲み忘れた場合の影響をどのように認識していますか？(いくつでも)【MA】

※N=薬を飲み忘れることがある患者(139)

0% 20% 40% 60% 80% 100%

患者

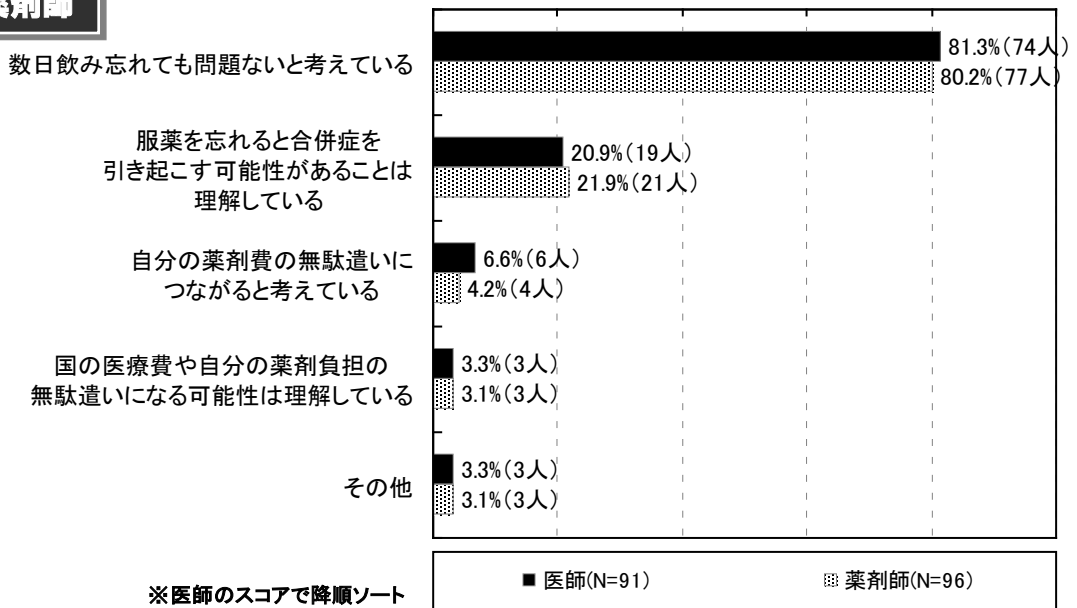


Q30 生活習慣病のお薬について、飲み忘れた場合の影響を患者はどのように認識していると思いますか？(いくつでも)【MA】

※N=患者が薬を飲み忘れることがあると思う医師・薬剤師(187)

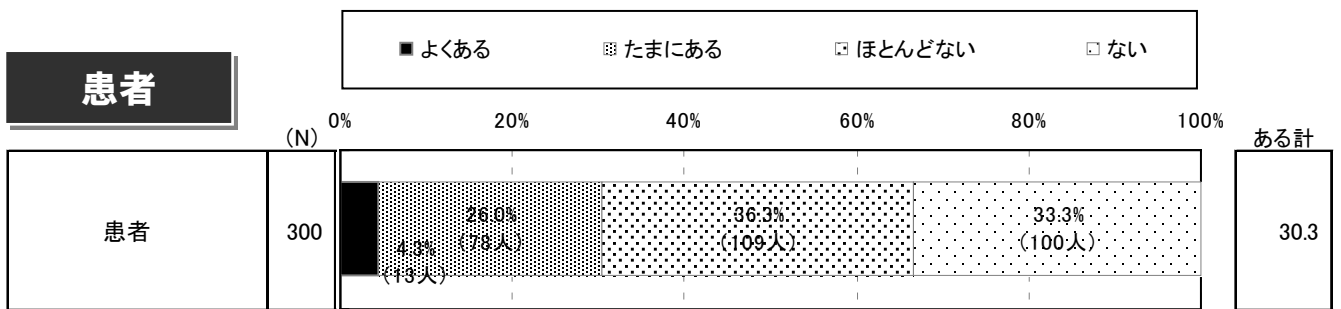
0% 20% 40% 60% 80% 100%

医師・薬剤師

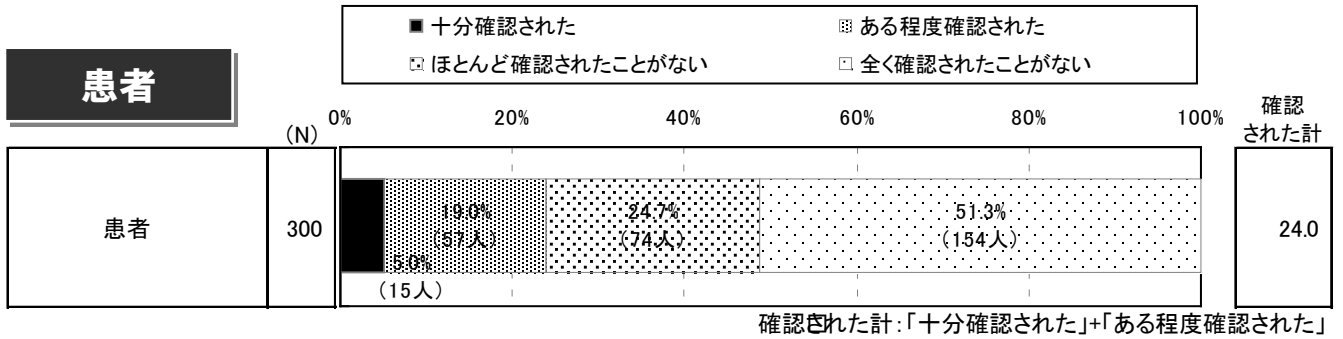


Q14 生活習慣病のお薬について、飲みきれずに余らせることはありますか？【SA】

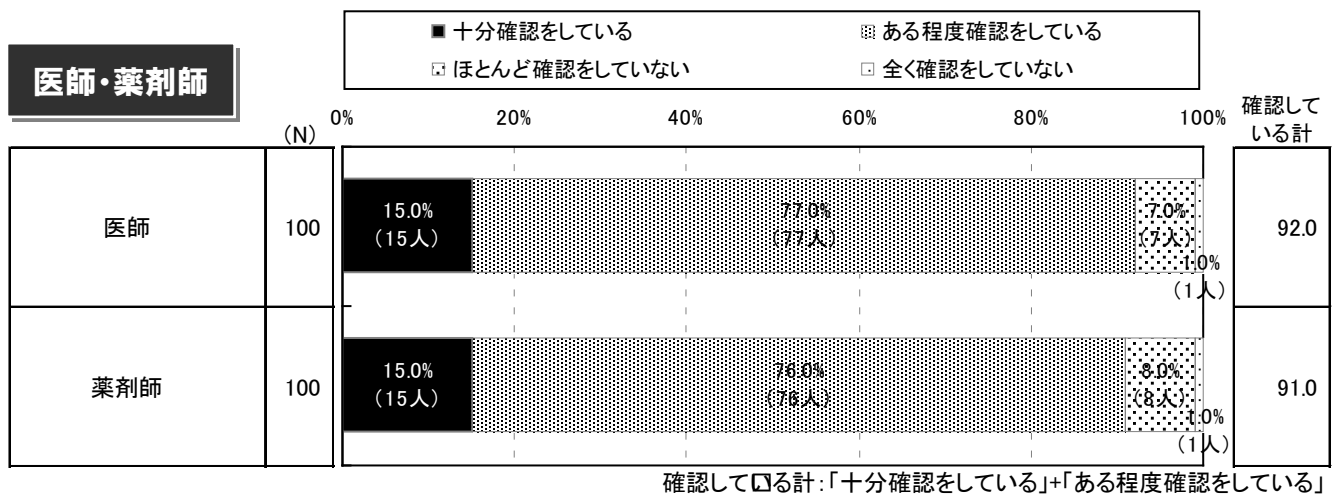
※N=患者(300)



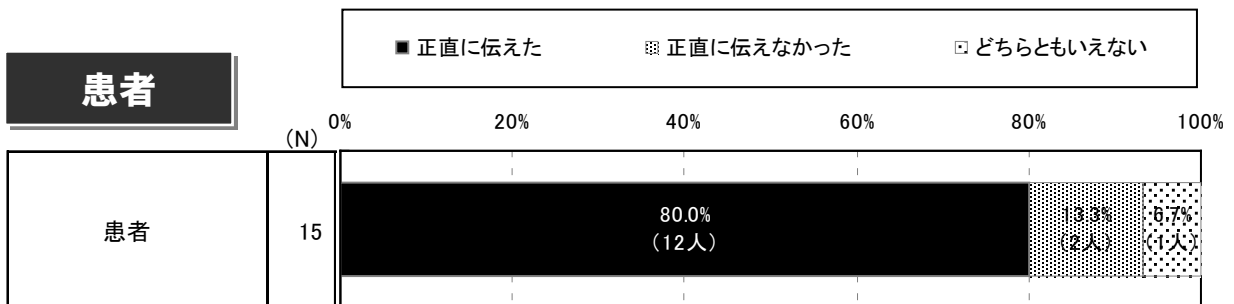
Q15 今年の4月以降に生活習慣病のお薬について、飲み残している薬(残薬の確認)があるか薬剤師から確認されましたか？【SA】
 ※N=患者(300)



Q33 患者さんに対し、処方した生活習慣病の薬剤の残薬状況を確認していますか？【SA】
 ※N=医師・薬剤師(200)



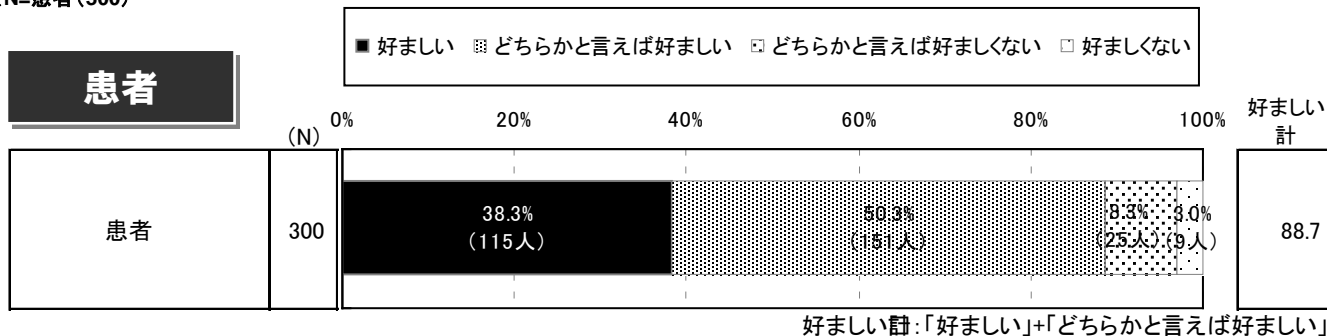
Q17 飲み残している薬(残薬の確認)があるか確認された際、正直に飲み残している薬の状況(服薬状況)を伝えましたか？【SA】
 ※N=薬剤師から残薬の確認が十分にあった患者(15)



N=30未満は参考値

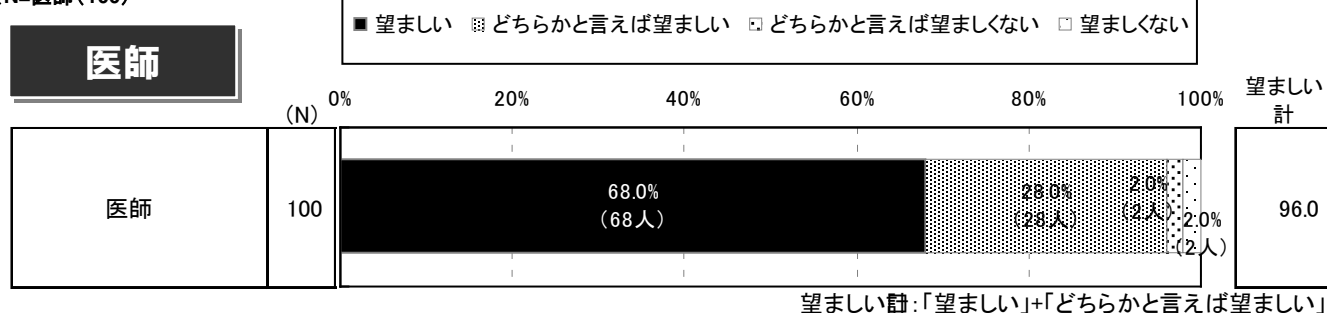
Q19S1 薬剤師から飲み残している薬(残薬の確認)の状況確認に合わせ、次のような対応をされることについてどのように思いますか。【SA】
【薬の飲み残しのリスクの説明と指導】

※N=患者(300)



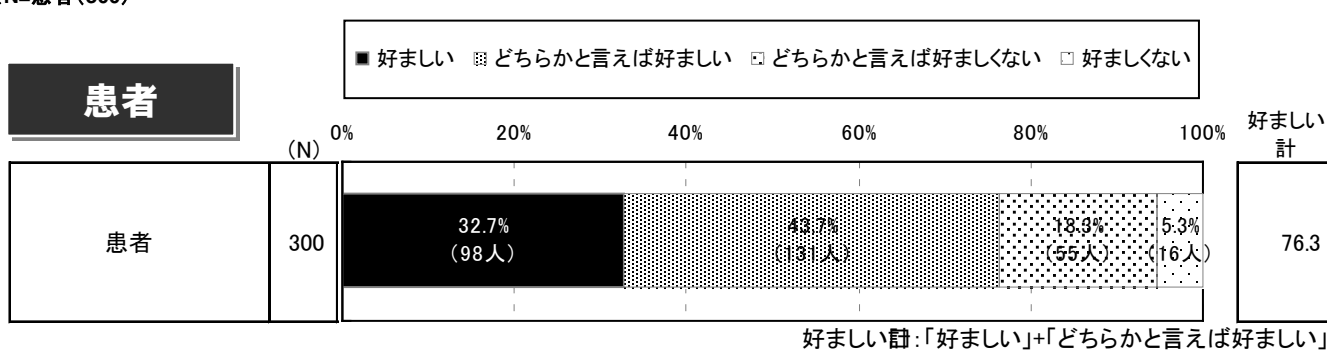
Q36S1 薬剤師が患者の残薬状況の確認に合わせ、次のような対応をすることについてどのように思いますか。【SA】
【患者にリスクをしっかりと伝えて指導する】

※N=医師(100)



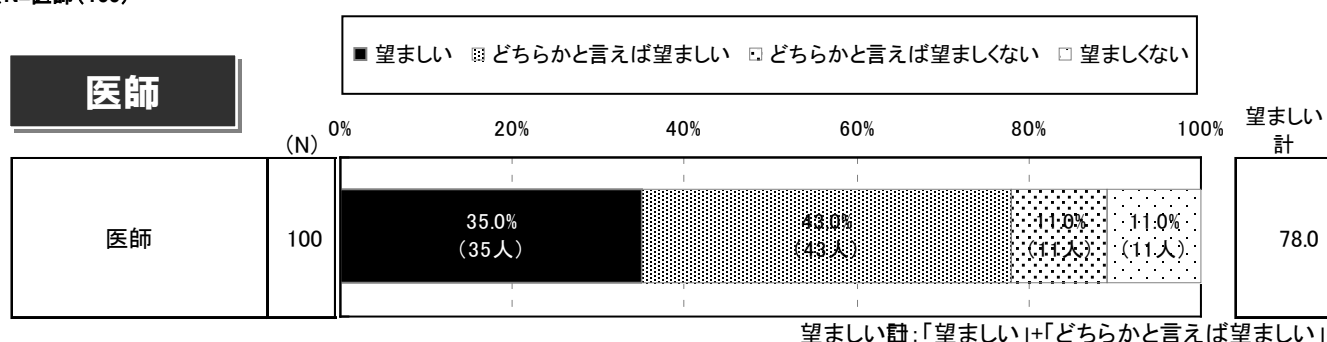
Q19S2 薬剤師から飲み残している薬(残薬の確認)の状況確認に合わせ、次のような対応をされることについてどのように思いますか。【SA】
【医師への薬剤数を減らすための要請】

※N=患者(300)



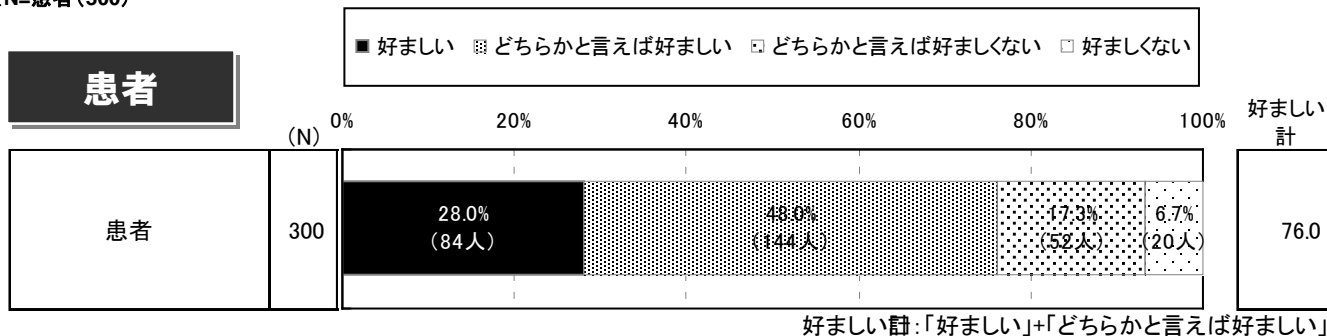
Q36S2 薬剤師が患者の残薬状況の確認に合わせ、次のような対応をすることについてどのように思いますか。【SA】
【医師に疑義照会し薬剤数を減らしてもらう】

※N=医師(100)



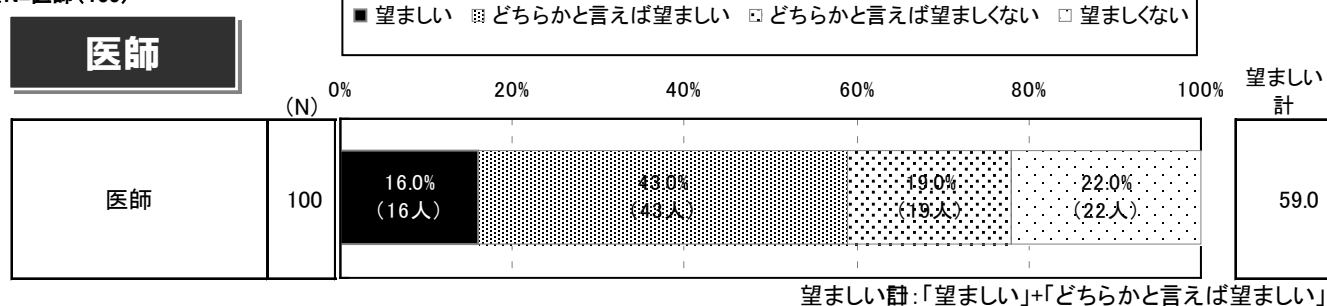
Q19S3 薬剤師から飲み残している薬(残薬の確認)の状況確認に合わせ、次のような対応をされることについてどのように思いますか。【SA】
【薬剤数を減らすための配合剤の推奨】

※N=患者(300)



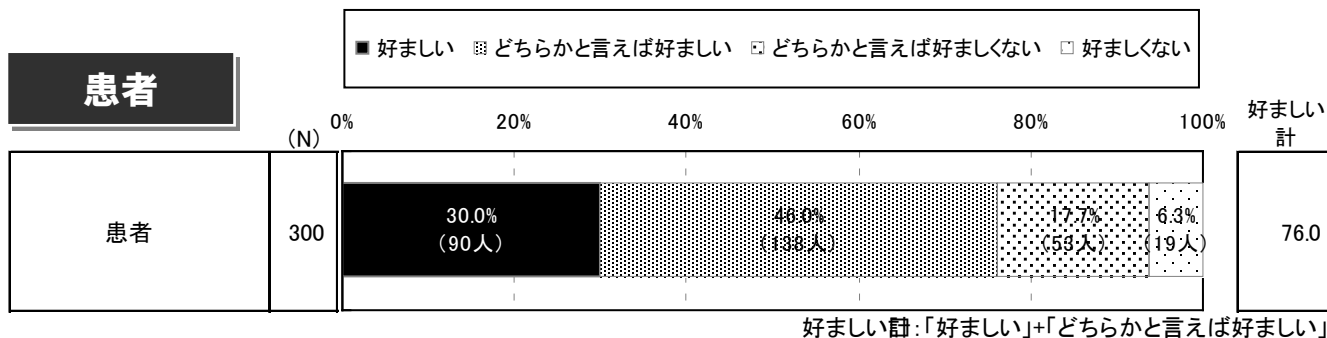
Q36S3 薬剤師が患者の残薬状況の確認に合わせ、次のような対応をすることについてどのように思いますか。【SA】
【患者に配合剤を薦める】

※N=医師(100)



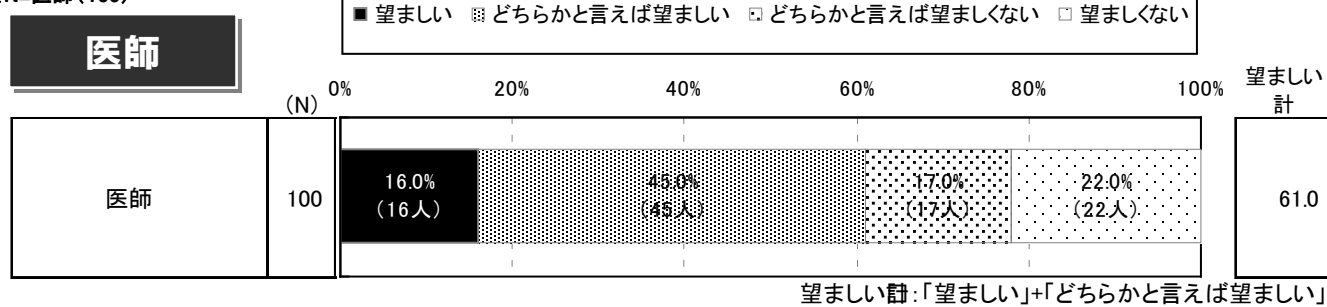
Q19S4 薬剤師から飲み残している薬(残薬の確認)の状況確認に合わせ、次のような対応をされることについてどのように思いますか。【SA】
【医師への薬剤数を減らすための配合剤の推奨(*何種類かのお薬の成分をひとつのお薬の中に含ませた医薬品)】

※N=患者(300)



Q36S4 薬剤師が患者の残薬状況の確認に合わせ、次のような対応をすることについてどのように思いますか。【SA】
【医師に配合剤を薦める】

※N=医師(100)

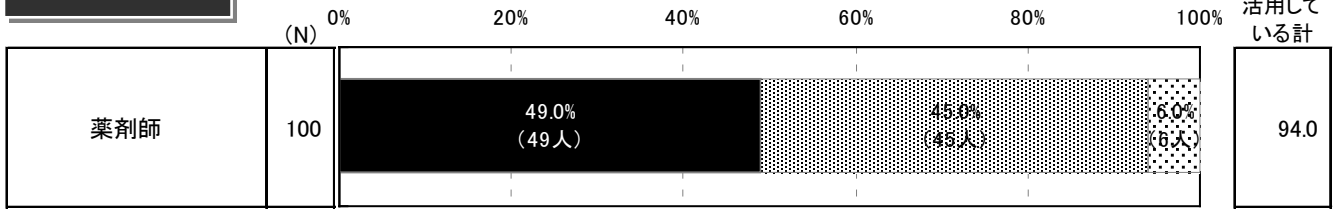


Q22 患者さんの生活習慣病の服薬管理にお薬手帳を活用していますか？【SA】

※N=薬剤師(100)

薬剤師

■ 全ての患者に対して活用している ■ 一部の患者に対して活用している □ 活用していない



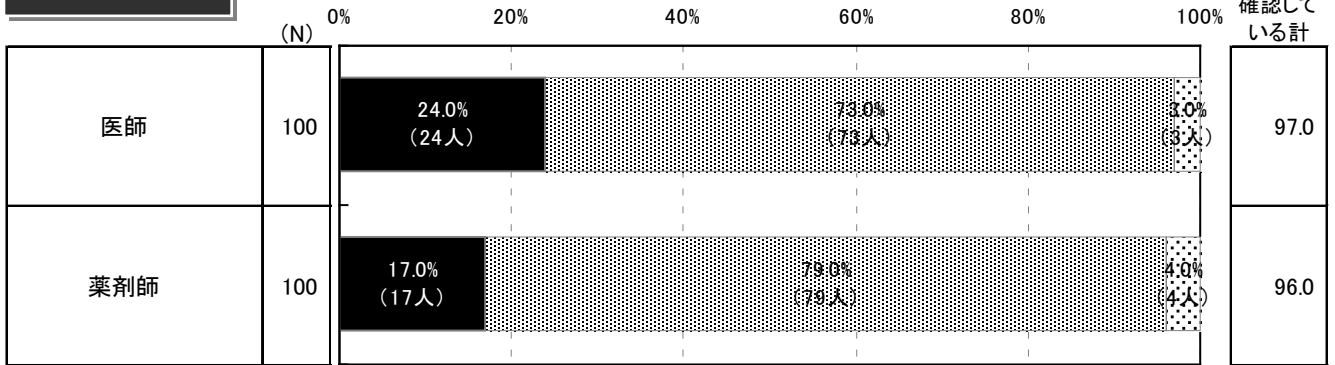
活用している計:「全ての患者に対して活用している」+「一部の患者に対して活用している」

Q23 患者の生活習慣病の薬剤服用歴についてどの程度、確認(把握)していますか？【SA】

※N=医師・薬剤師(200)

医師・薬剤師

■ 十分確認(把握)をしている ■ ある程度確認(把握)をしている □ ほとんど確認(把握)をしていない □ 全く確認(把握)をしていない



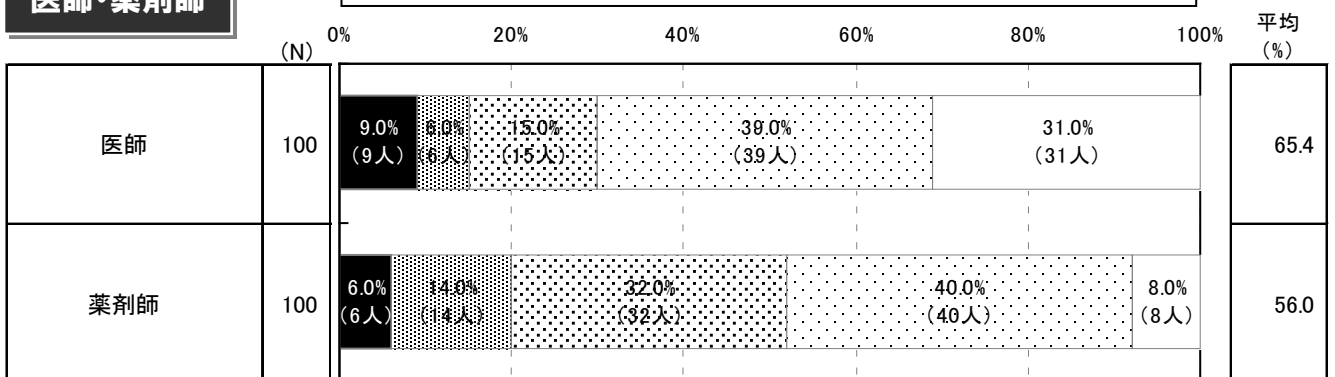
確認している計:「十分確認(把握)をしている」+「ある程度確認(把握)をしている」

Q31 何%ぐらいの患者さんが処方されたお薬をきちんと服用しているというご認識ですか？【SA】

※N=医師・薬剤師(200)

医師・薬剤師

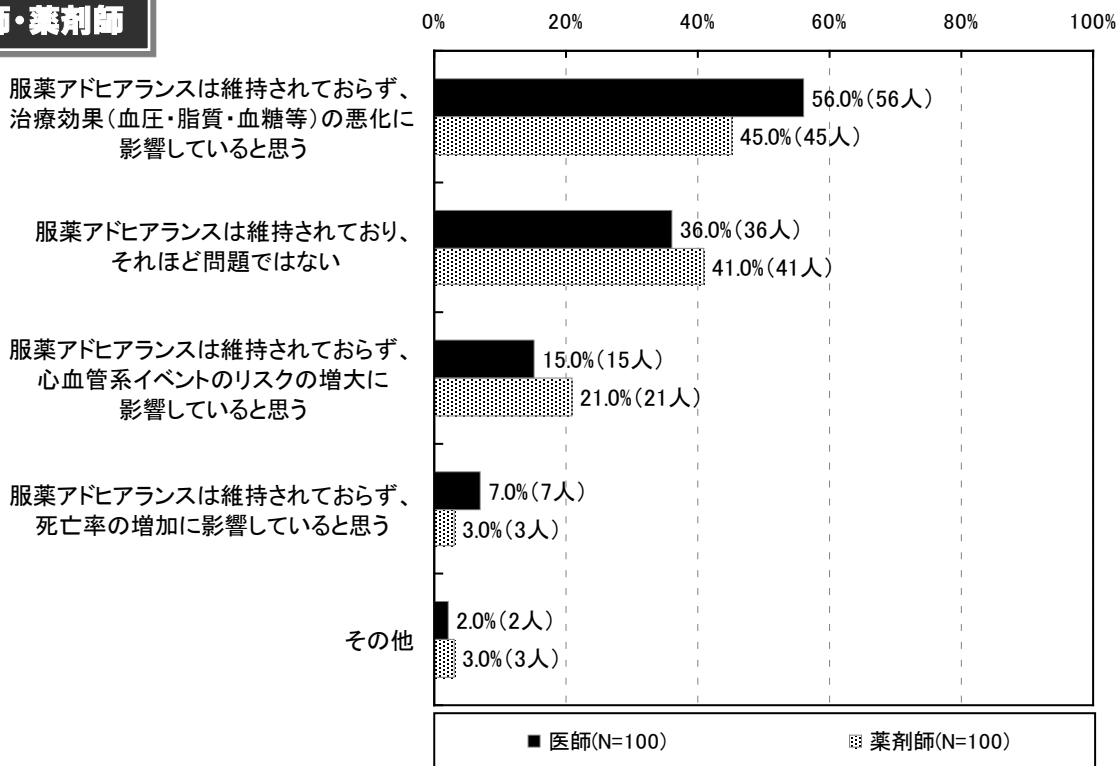
■ 20%未満 ■ 20%以上40%未満 □ 40%以上60%未満 □ 60%以上80%未満 □ 80%以上



Q32 生活習慣病(高血圧・高コレステロール血症・糖尿病等)患者さんの服薬アドヒアランスについて、どのように認識していますか？(いくつでも)【MA】

※N=医師・薬剤師(200)

医師・薬剤師

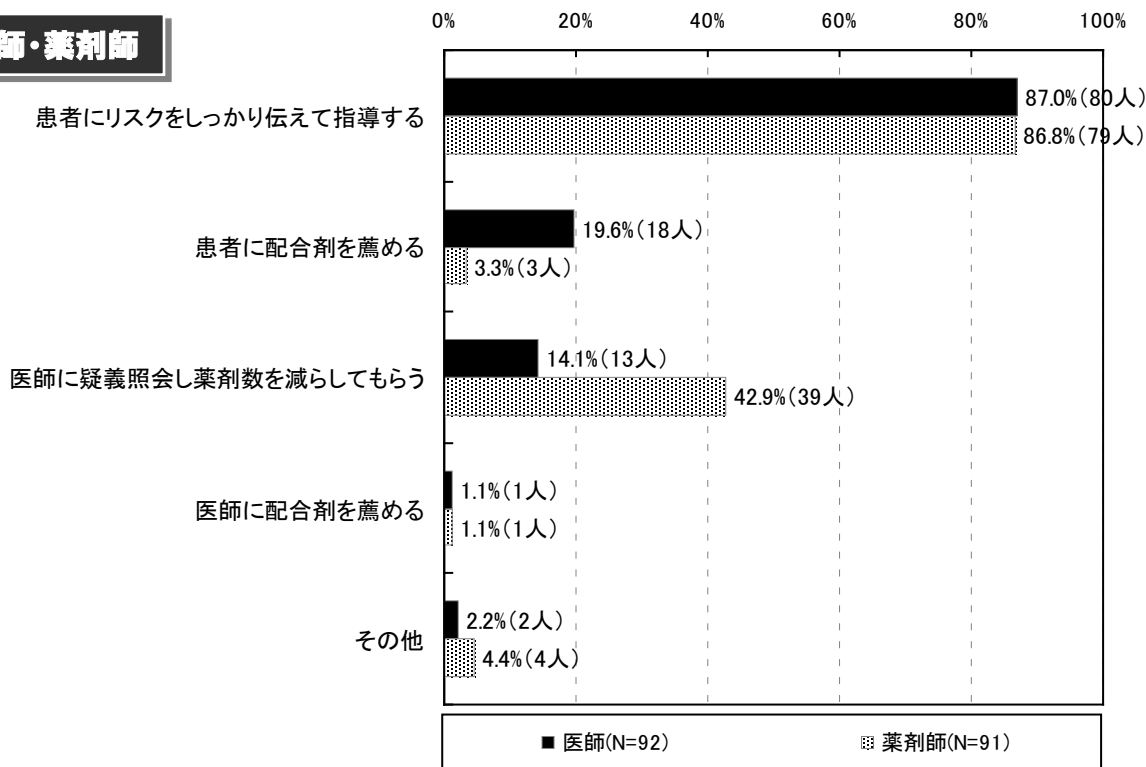


※医師のスコアで降順ソート

Q34 残薬状況を確認した際、どのような対応をしていますか？(いくつでも)【MA】

※N=患者に残薬状況を確認している医師・薬剤師(183)

医師・薬剤師



※医師のスコアで降順ソート

Q35 調剤薬局でどの程度患者に対し生活習慣病のお薬について、残薬状況の確認が行われていると思いますか？【SA】

※N=医師(100)

